

生徒指導だより

第9号

令和7年5月8日発行
市川市立大洲中学校
生活指導担当

講演会

学校開放日の午後、「SNSの使用」を主なテーマにした講演会を実施しました。全体的な内容は初めてのものではないものがほとんどでしたが、事前にとったアンケートを参考にした内容もありました。自分自身の利用法について考えるきっかけにすることができたでしょうか。

アンケートの中に、「SNSで知り合った人に会ったことがある」という人がいることが結果として出ていました。アンケートの回答者が全体の7割程度であったことを考えると、10名程度の人がそういった経験があることになります。「実際に会う」ということのリスクについては様々なところで注意喚起がされており、今さら言うまでもないかもしれませんが、SNSを利用する上で常に心に留めておくべきことです。

ネットパトロールの話も出ていました。前任校では実際に連絡が来て、該当の生徒に指導をしたことがあります。その生徒はアカウントを鍵付きにしていると言っていて、実際そのような表示になっていたのですが、誰でも見られる状態になっていました。

SNSの使用については否定から入るものではないことは言うまでもないのですが、利用にあたっては十分注意しなければならないものです。その場の「勢い」や「ノリ」で活用法を間違えて、大きなトラブルを招かないように注意をしましょう。

講演会の内容以外の部分の話なのですが、話を聞く時の姿勢が良くない人がいました。姿勢を維持する体力と集中力の両方の問題だと思われますが、見た目として良くないことはもちろんなのですが、そういう人ほど、その人にとって大事な時に力を発揮することができません。自分自身のために、授業中など、日頃から良い姿勢を心がけてみましょう。

継続は力なり

「継続は力なり」。よく使われる言葉です。「続けることの重要性」、「何事も続けていれば必ず成果につながる」、「努力を積み重ねることが自分の力になる」といった説明がされることわざです。成果を実感できるまで「継続」するには当然時間がかかるのですが、今、朝の挨拶でそれを実感しています。

朝の7時50分頃から校門前で挨拶に立っています。生徒のみなさんにはもちろんですが、校門の前を通る一般の方々にも挨拶をしています。最初、一般の方々のリアクションは様々でした。挨拶を返してくれる人、会釈を返してくれる人、とまどったような顔をする人、気づいているようだが下を向いている人、まったくこちらに顔を向けない人・・・そんなに社交的ではない自分にとって、最初はなかなか心が削られる瞬間もありましたが、今は、校門前を歩いていくほとんどの方と挨拶のコミュニケーションがとれるようになりました。外国人の方は、こちらが笑顔で挨拶をすると笑顔で挨拶を返してくださるので、とても気持ちが良いです。生徒のみなさんに挨拶をするために反対側を向いていて向き直ると、こちらを見てくださっていたりする方がいると、とても嬉しくなります。生徒のみなさんとの挨拶も今まで以上に増えてきました。「続ける」ことの成果を実感している毎日です。

みなさんには続けていることや続けたいと思っていることはありますか。

何かを続けるということはエネルギーがいるものです。続けるのが得意ではない人は、「目標をあえて決めず」、「自分を楽しませるための時間」くらいの考え方から始めれば、少しずつ続けられるものや続ける力が備わってくるのかなと思います。